

東九州自動車道（北浦 I C<sup>きたうら</sup>～須美江 I C<sup>すみえ</sup>間）

## 開通のお知らせ

国土交通省九州地方整備局が整備を進めてきた東九州自動車道（北浦<sup>きたうら</sup>～須美江<sup>すみえ</sup>間）が開通しますのでお知らせします。

○開通日 **平成 26 年 3 月 8 日（土）**

○開通区間 **北浦 I C<sup>きたうら</sup>～須美江 I C<sup>すみえ</sup>（※）**  
**延長：約 6.4 km**

※須美江 I C<sup>すみえ</sup>は、宮崎・日向方面への乗降りしか出来ません。

（大分・佐伯方面へは行けません。）

○今回の開通区間は**無料**で通行できる**自動車専用道路**です。

【北浦<sup>きたうら</sup>～須美江<sup>すみえ</sup>間の開通により期待される効果】

- ・ 時間短縮：延岡市～佐伯市がさらに **10 分短縮！**
- ・ 防災支援：高速道路による**代替性の確保！**  
大規模災害時の**緊急避難や緊急輸送道路としての命の道！**
- ・ 医療支援：**救急救命率の向上！**
- ・ 観光支援：豊富な観光資源を生かした**周遊観光の実現！**
- ・ 産業支援：水産業の**輸送効率化による鮮度向上！**

※今後、継続的な調査を行い、開通後の交通量や整備効果など、引き続きお知らせする予定です。

## 【今後の記者発表予定】

○開通日の一般車両が通行可能となる時刻や開通式典など、具体的な内容が決まり次第あらためてお知らせします。

お問い合わせは、下記までお願いします。

国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所

Tel：0982-31-1155

副所長（道路） なかがわ えいいち 中川 英一（内線 205）、調査第二課長 わたなべ けんいち 渡邊 賢一（内線 451）

【概要】

# 開通区間（北浦～須美江間）の位置図

九州の高速道路網図



凡 例	
	東九州道
	今回開通区間
	開通区間
	事業中区間
	基本計画区間
	調査中区間
	IC・JCT

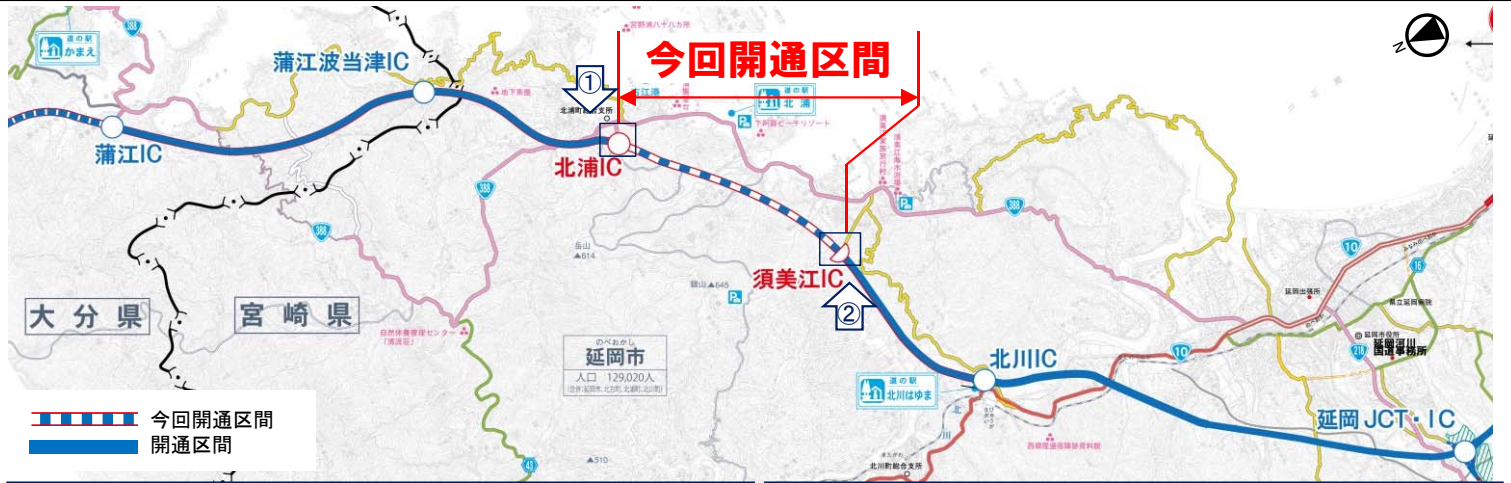
注) ・ 須美江インターチェンジと門川インターチェンジは、延岡方面への入口及び延岡方面からの出口専用。  
 ・ 括弧内の年度は公表されている開通目標年度



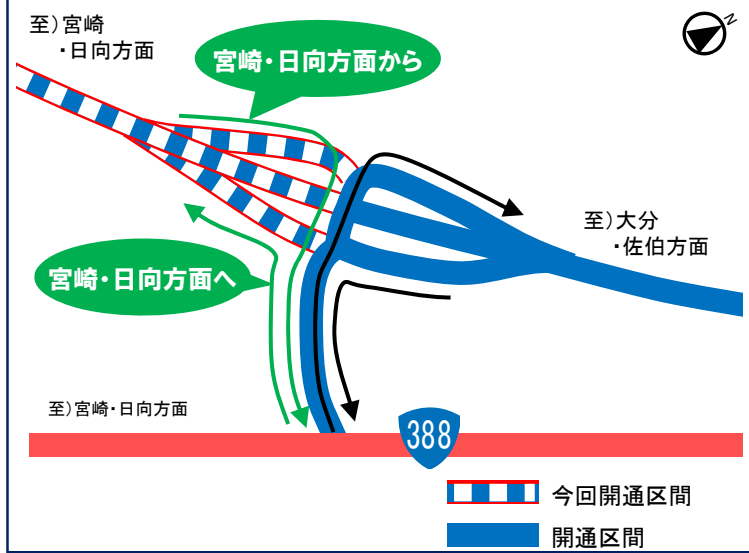


# 【概要】

# 開通区間（北浦～須美江間）の案内図



## ①北浦IC



## ②須美江IC(※)



## ①北浦IC上空からのイメージ



## ②須美江IC上空からのイメージ



## 【概要】

# 開通区間（北浦～須美江間）の事業概要

## 事業概要

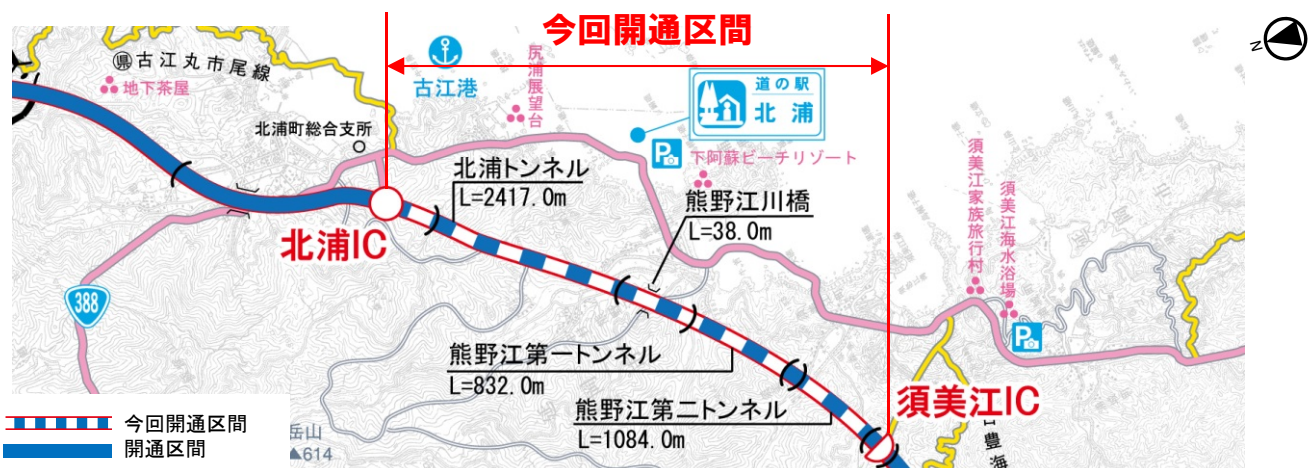
今回開通する北浦～須美江間は「東九州自動車道（延長436km）」の一部を形成し、九州東部の広域的な連携、物流の効率化及び地域の発展等を支援、国道388号の代替路線機能を目的とした宮崎県延岡市北浦町古江から宮崎県延岡市須美江町の延長6.4kmの自動車専用道路です。

東九州道（北浦～須美江）

- 事業着手：平成15年度
- 延長：L=6.4km
- 設計速度：80km/h
- 区間 自：宮崎県延岡市北浦町 ～ 至：延岡市須美江町
- 車線数：暫定2車線

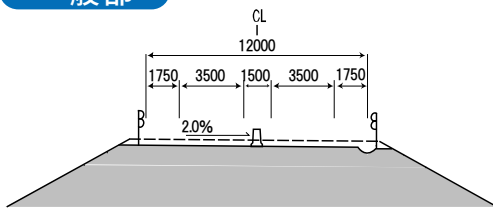
※完成計画は4車線ですが、今回、暫定的に2車線で開通させるものです。

## 平面図

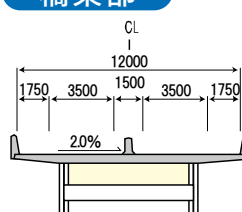


## 標準断面図（※暫定2車線供用時）

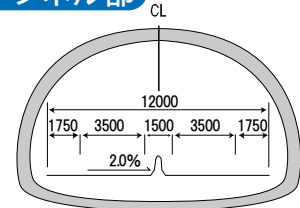
### 一般部



### 橋梁部



### トンネル部



## 主要構造物

○トンネル数：3箇所（合計L=4,333m）

- ・北浦トンネル L=2,417m
- ・熊野江第一トンネル L=832m
- ・熊野江第二トンネル L=1,084m

○橋梁数：1箇所（合計L=38m）

- ・熊野江川橋 L=38m

全体延長6.4kmのうち、構造物比率は約68.3%になっています。

（・土工区間 約31.7% ・橋梁区間 約0.6% ・トンネル区間 約67.7%）



# 【時間短縮】 開通区間（北浦～須美江間）の時間短縮

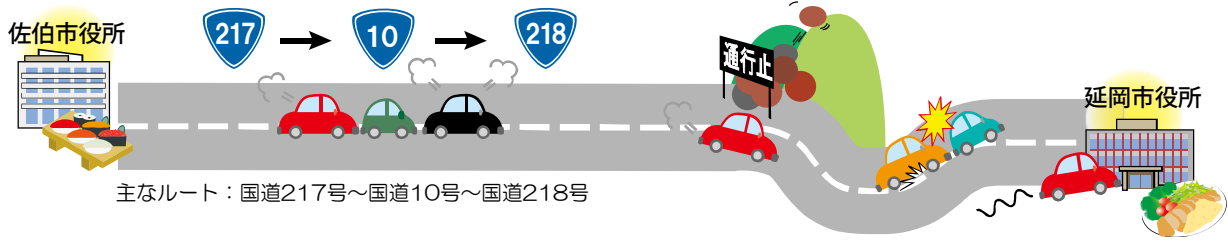
○東九州道を利用することで、延岡市～佐伯市間の移動時間が一般道路利用より**約10分短縮**されます。

※各主要都市間の時間短縮については参考資料をご覧ください。

## 延岡市～佐伯市間の移動時間が短縮

現在

一般道路利用



移動時間

約1時間  
20分

現在

東九州道利用（H26. 1時点）



今は  
約5分  
短縮

約1時間  
15分

開通後

東九州道利用（H26. 4時点）



開通すると  
約5分短縮

一般道路利用より  
約10分短縮

約1時間  
10分

東九州道を利用すると、時間短縮以外にも、災害、事故、渋滞のリスクが低下します。

## 【参考】 延岡市から各主要都市への所要時間（宮崎市、北九州市）

主要都市間 各市役所からの所要時間 ( )は市役所最寄りIC	所要時間 <small>H25年3月～8月民間プローブデータの平日・混雑時平均旅行速度より算出</small>		
	現在(H25)	H25末	短縮
延岡市 (延岡IC) ～ 宮崎市 (宮崎西IC)	約1時間40分	約1時間25分	約15分
延岡市 (延岡IC) ～ 北九州市 (小倉東IC)	約3時間50分	約3時間40分	約10分

・H25末はH25年度開通予定区間（苅田北九州空港～行橋間8.6km）、（北浦～須美江間6.4km）、（日向～都農間20.0km）を含む

# 【防災支援】 災害に強い道路になります。

- 北浦IC～須美江IC間を利用することで並行道路にて通行止めが発生した場合に**代替路としての機能が期待**されます。
- 南海トラフ巨大地震の津波浸水災害に備えた避難階段を2箇所設置しており、**地域住民の方が安全で迅速に避難**することができます。

## 災害発生時の代替路を確保

### 災害リスクの高い国道388号(並行道路)



▲国道388号の被災状況

路線名	大分県側	宮崎県側	合計
国道388号	30箇所	105箇所	135箇所
(一)古江丸市尾線	9箇所	17箇所	26箇所

▲開通区間沿線の防災要対策箇所数

#### ○道路防災要対策箇所とは

土砂災害等の災害に至る可能性が明らかに高い箇所になります。道路管理者はそれら箇所に対して、防災対策および施設管理を実施しています。

#### ○津波浸水想定とは

宮崎県防災会議・地震専門部会にて南海トラフ巨大地震による最大クラスの津波により、浸水予測地域および浸水深が想定されました。延岡市の最大津波高さは14mと予測されています。

### 緊急時の避難場所を確保

■今回開通区間では津波浸水災害に備え、道路法面を利用した避難階段を2箇所設置しています。

#### 【北浦IC付近】

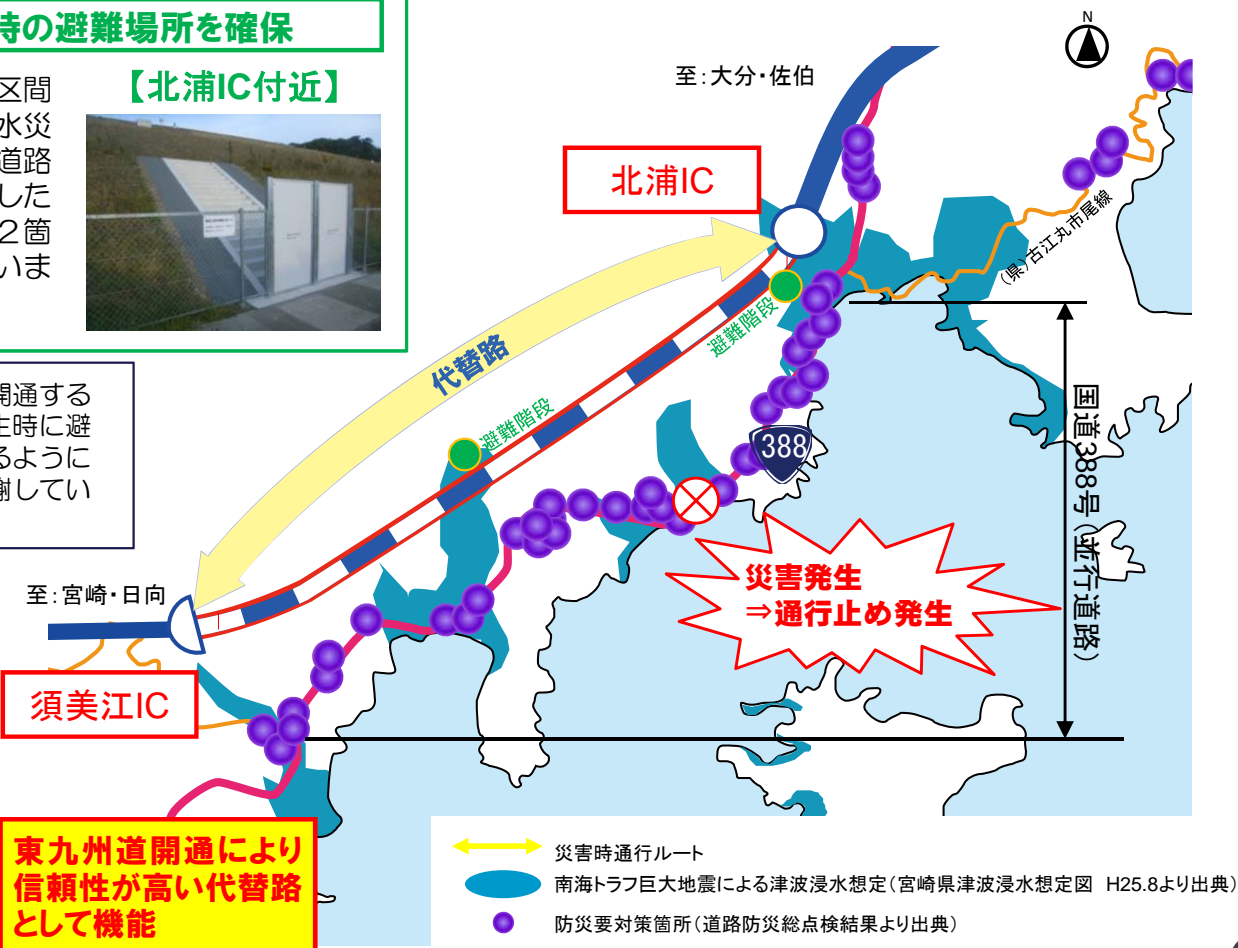


高速道路が開通することで災害発生時に避難が早くできるようになり、大変感謝しています。



北浦町民の声

▲住民アンケート調査結果 (H25.8.14～30)



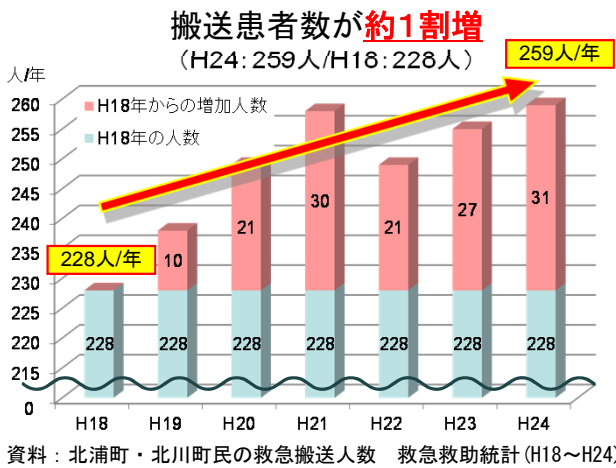
**東九州道開通により信頼性が高い代替路として機能**

# 【医療支援】 地域の救急医療活動を支援します。

- 救急搬送が困難な地域である北浦町からの救急搬送患者数が近年、増加傾向にあります。
- 北浦IC～須美江IC間を利用することで救急搬送時間の短縮が可能となり、搬送患者の負担軽減、救急救命率の向上が期待されます。

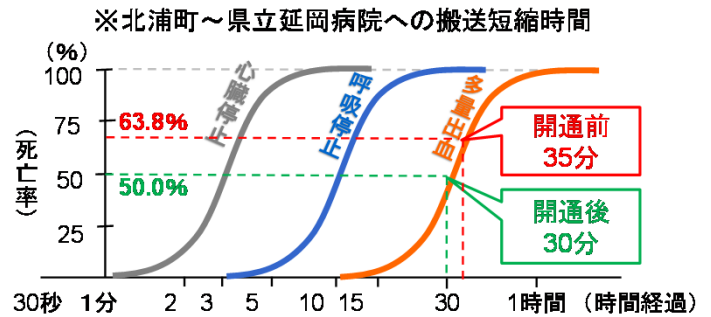
## 北浦地区～県立延岡病院へのアクセス時間が短縮

### 北浦町の救急搬送患者数



### 搬送時間および救急救命率

○搬送時間が約5分短縮  
その結果、救急救命率が **約14%向上**



開通前(H26.1時点):約35分  
開通後(H26.4時点):約30分

⇒約5分短縮





# 【観光支援】 観光活性化の向上を支援します。

- 日豊海岸国定公園沿線は美しい自然などに恵まれ、**多数の観光資源が存在します。**
- 北浦IC～須美江IC間の開通によりアクセス時間の短縮が図られ、**周遊観光エリアが拡大することから県外からのさらなる観光客増加が期待されます。**

## 多数ある観光地へのアクセス性が向上

### 日豊海岸国定公園沿線に多数ある観光資源

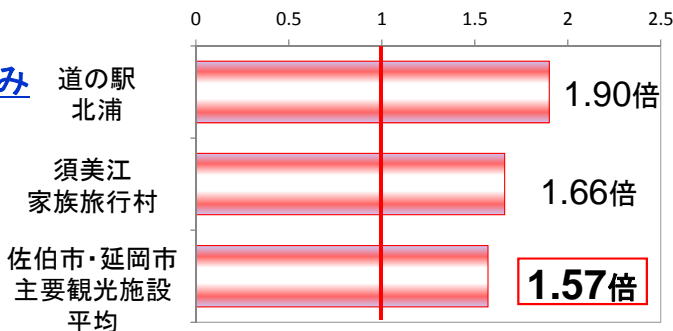


### 【参考】沿線観光地のさらなる観光客増加に期待

#### 【開通効果】

#### 沿線観光地の入込み客が大幅増加

- ・蒲江IC～北浦IC (H25.2.16開通)
- ・須美江IC～延岡JCT・IC (H24.12.15開通)



▲ 開通前後 主要観光施設の入込み客数前年比  
延岡市商工観光課提供資料 開通前: H24GW、H25GW

観光地写真出典: 延岡市HP、環境省HP



# 【産業支援】 水産業の振興を支援します。

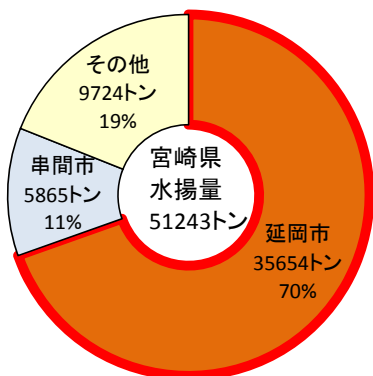
- 延岡市は県内でも最も多い水揚量を誇り、漁獲量日本一のウルメイワシをはじめ、ブランド魚を有する**漁業が盛んな地域**です。
- 今回の開通により、延岡市（北浦漁協）からの水産品の輸送効率性向上による鮮度保持・水産品の価値向上が図られ、**水産業振興を支援**します。

## 水産業の輸送効率性が向上

### 漁業の盛んな延岡市

#### 宮崎県市町村別水揚量

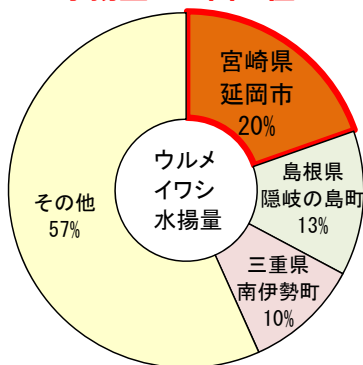
延岡市の水揚量は県内の約7割を占める



資料：水産統計資料（H22）

#### 全国市町村別ウルメイワシ水揚量

延岡市はウルメイワシの水揚量が全国一位



資料：延岡市提供資料（H24）

#### ウルメイワシ

ウルメイワシは目刺しにした干物、いわゆるメザシの材料加工品として販売・流通することが多い魚です。



ウルメイワシは傷みが早く、加工場まで早く輸送することが求められています。

### 延岡市（北浦漁協）からの水産品輸送経路

- ・各消費地への**時間短縮・安定輸送**により、水産品の**鮮度保持を確保**
- ・輸送効率性の向上により、**販路拡大へ期待！**
- ・空輸時における**利用空港の選択肢が増え、安定輸送を実現！**

東九州道を利用することで**空港までの搬送時間が読めるようになり、関東、関西方面へ安定的に出荷できるようになりました。**



漁協職員の声

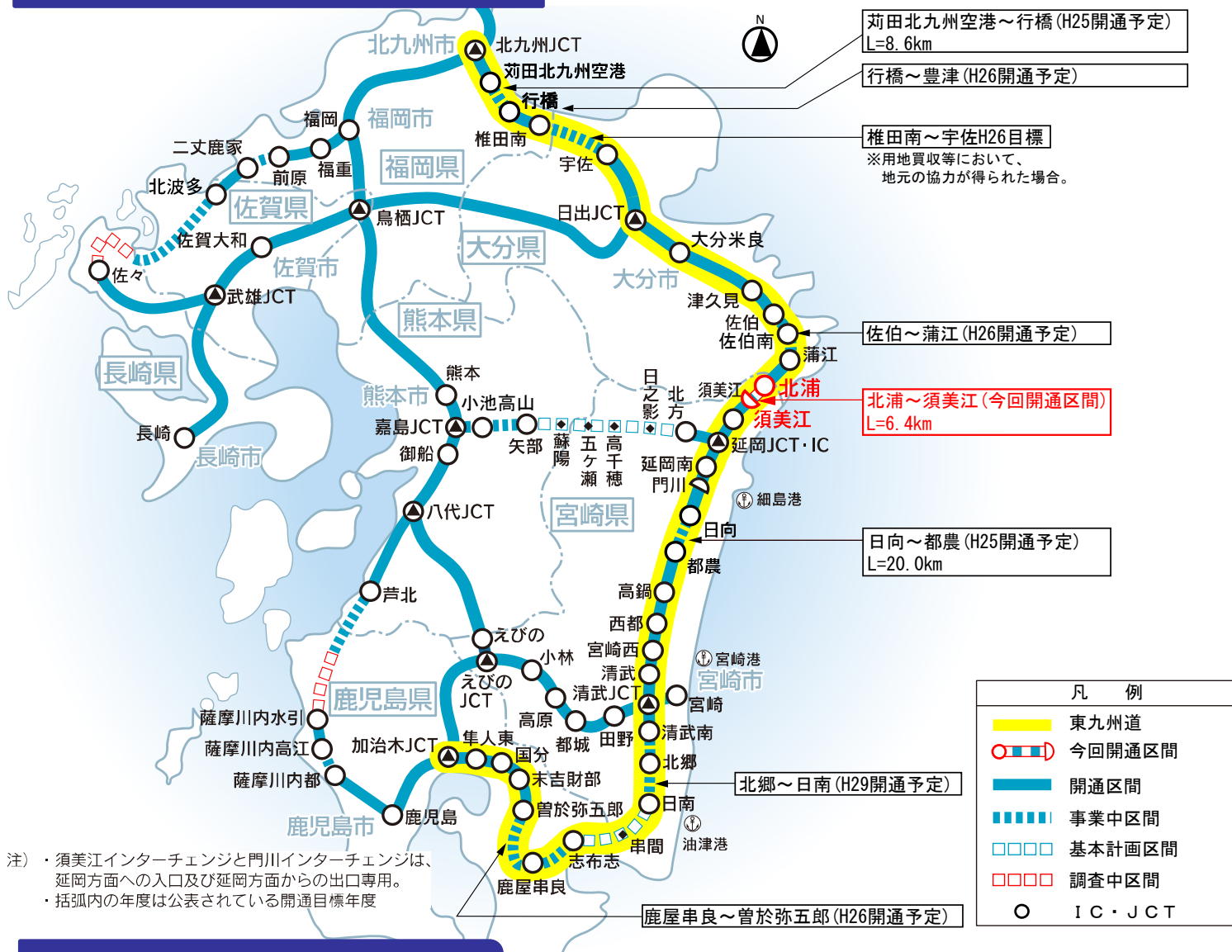


# 【参考】 東九州自動車道の整備状況

○今回の開通区間とその他開通予定区間を含めると平成25年度末で**6割を超える整備**となり、事業が着々と進んでいます。

## 九州の高速道路網と東九州道

### 東九州自動車道の供用状況



### 東九州自動車道の整備率

【現在 H26.1時点】

**242km / 436km : 約56%**  
(うち宮崎県内の整備延長102km)



【平成25年度末 H26.4時点】

**277km / 436km : 約64%**  
(うち宮崎県内の整備延長128km)

・H25年度開通予定区間  
(苅田北九州空港～行橋間8.6km) (北浦～須美江間6.4km) (日向～都農間20.0km) 合計35km

【参考】 時間短縮

沿線都市間の移動時間を短縮します。

- 東九州自動車道の開通により、現在の沿線都市間の移動時間が最大約1時間短縮することが期待されます。
- 東九州自動車道がまだ整備されていない過去と比較すると、沿線都市間の移動時間がこれまでの整備により大幅に短縮してきたことが伺えます。

沿線都市間の移動時間が短縮

現在（H25）と将来（北九州～宮崎間：東九州道全線開通）の比較

主要都市間 各市役所からの所要時間 ( )は市役所最寄りIC	所要時間		
	現在(H25) 【国道10号・東九州道利用】	将来 【東九州道利用】	短縮
北九州市(小倉東IC) ~ 宮崎市(宮崎西IC)	5時間20分	4時間20分	1時間00分
大分市(大分IC) ~ 宮崎市(宮崎西IC)	3時間25分	2時間50分	35分
延岡市(延岡IC) ~ 宮崎市(宮崎西IC)	1時間40分	1時間25分	15分

整備前(S63:国道10号利用)と将来(北九州～宮崎間:東九州道全線開通)の比較

主要都市間 各市役所からの所要時間 ( )は市役所最寄りIC	所要時間		
	整備前(S63) 【国道10号利用】	将来 【東九州道利用】	短縮
北九州市(小倉東IC) ~ 宮崎市(宮崎西IC)	8時間45分	4時間20分	4時間25分
大分市(大分IC) ~ 宮崎市(宮崎西IC)	5時間25分	2時間50分	2時間35分
延岡市(延岡IC) ~ 宮崎市(宮崎西IC)	2時間30分	1時間25分	1時間05分

・現在(H25)の所要時間は、H25年3月～8月民間プローブデータの平日・混雑時平均旅行速度より算出  
 ・過去(S63)の所要時間は、S63年度 道路交通センサスの混雑時平均旅行速度より算出  
 ・将来(北九州～宮崎:開通)の所要時間は、既開通区間は現在(H25)と同条件。新たな開通区間は指定最高速度(想定)より算出